

NEDO Frontier Division:
Proposal-based
Open Call Project Overview

NEDOフロンティア部

テーマ公募型事業紹介



国立研究開発法人
新エネルギー・産業技術総合開発機構

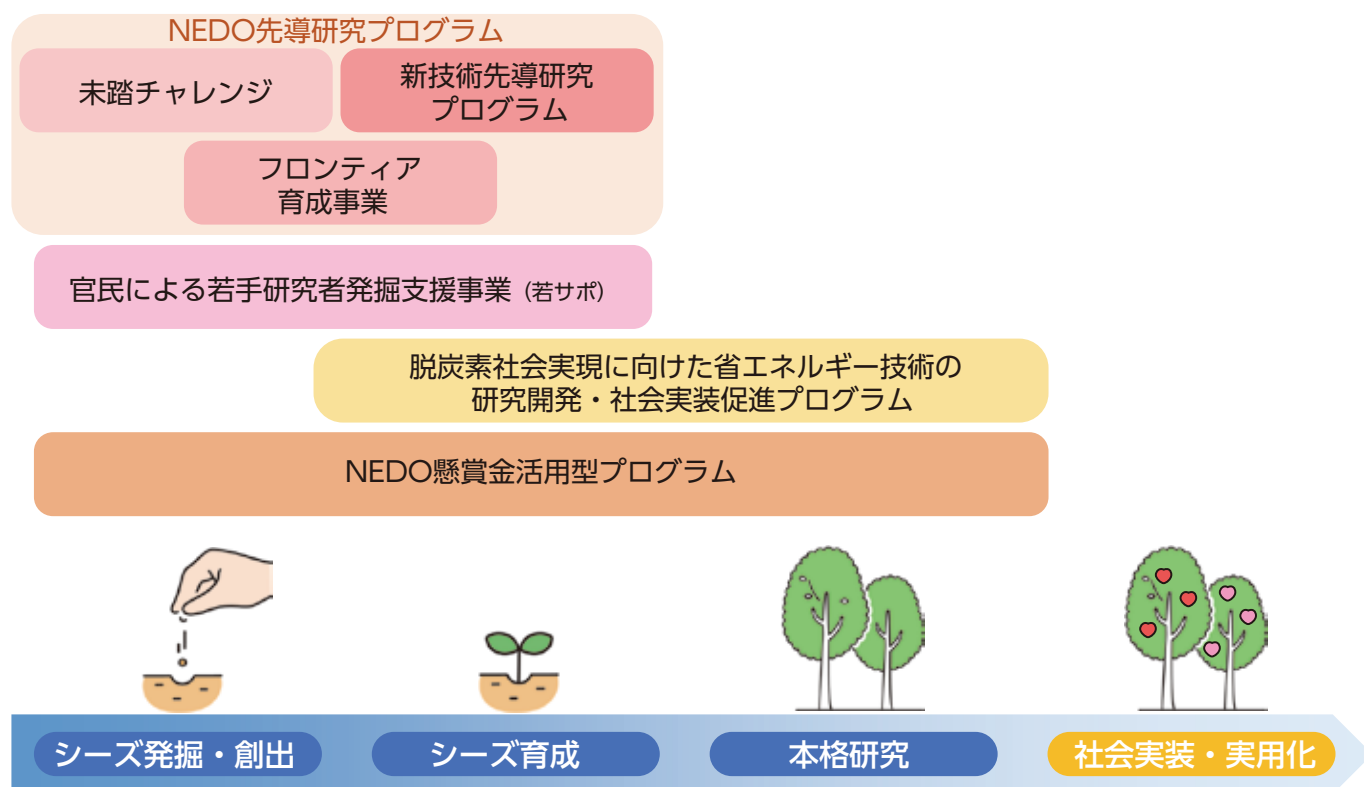
NEDOフロンティア部では、技術シーズの発掘から社会実装の直前まで、さまざまなステージを対象とした「テーマ公募型事業」を展開しています。これらの事業では、研究者の皆さんが自らテーマを提案し、自由な発想で研究に取り組むことができます。

本パンフレットは、「どの事業が自分の研究に合っているのか知りたい」といった方に向けて、各事業の特徴をわかりやすく簡単にまとめたガイドです。

ぜひ、フロンティア部のテーマ公募型事業の活用にお役立てください。

*なお、各事業の詳細は、各ページに掲載のQRコードからご覧いただけます。

【フロンティア部のテーマ公募型事業】



※各事業の位置づけをイメージで示しています。

NEDOについて

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構は、
NEDO (New Energy and Industrial Technology Development Organization)

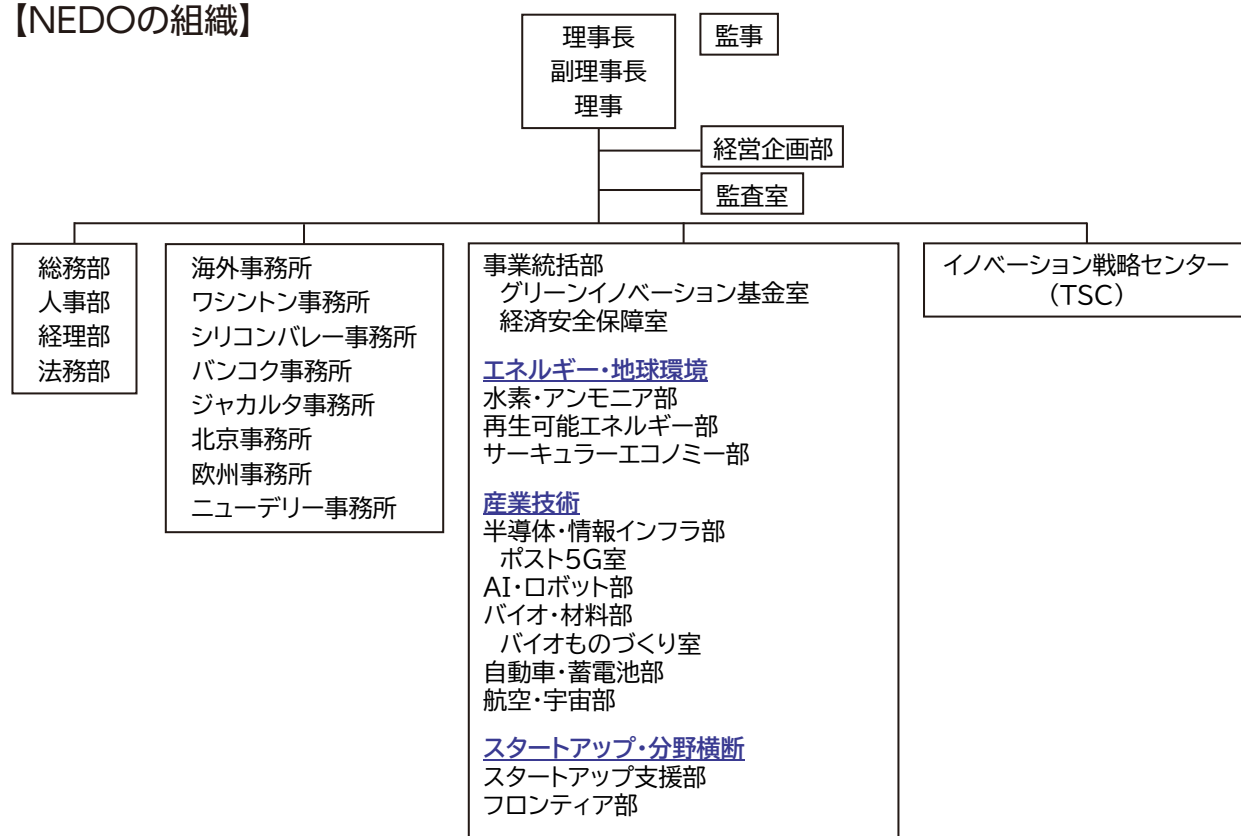
エネルギー・地球環境問題の解決や日本の産業技術力の強化のため、委託事業や補助金などにより技術開発を支援する政府の機関です。

NEDOの目的は、民間企業的能力を活用して技術開発の成果を事業化・社会実装まで導くことです。

そのために、NEDOは内外の情勢を観察して社会が求める技術を見出し、事業化につながるビジネスモデルの構築や経営戦略の策定まで、幅広くサポートしています。また、技術開発の現場と日頃から交流することで産学官の連携を促します。

NEDOのマネジメントで、新たな技術の種を商品・サービスに仕立て、投資家や金融機関などのステークホルダーにつなぎ、市場に投入するまで伴走支援する「イノベーション・アクセラレーター」を目指しています。

【NEDOの組織】



(2025年8月1日現在)

目次

ぴったりの事業は？

4

フロンティア部テーマ公募型事業 比較

5

NEDO先導研究プログラム

— 新技術先導研究プログラム

— エネルギー・環境新技術先導研究プログラム

— エネルギー・環境分野における革新的技術の
国際共同研究開発

6

7

— フロンティア育成事業

8

— 未踏チャレンジ

9

官民による若手研究者発掘支援事業（若サポ）

10

脱炭素社会実現に向けた

省エネルギー技術の研究開発・社会実装促進プログラム

11

NEDO懸賞金活用型プログラム

12

問い合わせ先

13

ぴったりの事業は？



産学連携体制で
技術のタネを育てたい

エネ環

6



海外機関と連携して
技術のタネを育てたい

国際共同研究

7



「日本の次のメシのタネ」
を育てたい

フロンティア育成

8



30年後の世界を変える
技術のタネを育てたい

未踏チャレンジ

9



産学連携を
始めてみたい

若サポ

10



革新的な省エネ技術で
脱炭素社会を実現したい

脱炭素省エネ

11



コンペティションに
挑戦したい

懸賞金活用

12

フロンティア部 テーマ公募型事業

比較

事業名（略称）		対象者	体制	金額	実施期間	対象となる技術開発
新技術 先導	エネ環	- 大学 - 研究機関 - 企業	産学連携	総額 2 億円 以内	最大 3 年	- 脱炭素社会の実現 2040年以降の実用化・社会実装を見据えた技術
	国際		日本（産学連携 or 大学や公的研究機関単独）と諸外国の連携	総額 1.5 億円 以内		
フロンティア		- 大学 - 研究機関 - 企業	産学連携 or 企業単独 or 大学や公的研究機関単独	技術分野等に応じて設定		2040年頃の社会実装に向けて、脱炭素効果削減と産業として成長するポテンシャルが相当大きいと思われる領域 - 初期的な研究開発ニーズがあるテーマ
未踏		- 大学 - 研究機関 - 企業	産学連携 or 大学や公的研究機関単独	5 百万～ 2 千万円/年	最大 5 年	- 事業開始後 30 年先を見据え、温室効果ガスの抜本的な排出削減を実現する技術 - 既存技術の延長線上になく、従来の発想によらない革新的な技術シーズ
若サポ	マッチングサポート	大学等に所属する 45 歳未満の若手研究者	大学や公的研究機関単独	1,000 万円 以内	最大 2 年	若手研究者の研究開発
	共同研究			3,000 万円 以内/年 ※企業負担額が上限	最大 3 年	若手研究者の企業との共同研究
	共同研究 （企業人材博士 課程派遣型）	企業の若手研究者 ※共同研究フェーズにおいて大学等と共同研究等を実施している企業	産学連携	500 万円 以内/年	最大 3 年	大学等の博士（後期）課程に入学して進める、共同研究フェーズでの事業成果の実用化が加速すると考えられる研究開発
脱炭素省エネ		- 企業 - 大学 - 研究機関	企業単独 or 産学連携	1,000 万円～10 億円/年 ※フェーズによる	最大 10 年	2040 年度に高い省エネルギー効果が見込まれる技術開発
懸賞金		日本に籍を有する者（法人、個人、グループ等）	問わない			課題による

エネルギー・環境

新技術先導研究プログラム

本プログラムでは、脱炭素社会の実現に向けた課題の解決に資する「技術シーズ」を発掘・育成し、国家プロジェクトを含む産学連携体制による共同研究等に繋げることを目指します。

取り組むべき（公募する）技術課題を設定するため、広く情報提供依頼（Request For Information：RFI）を行います。

こんな方におすすめ

- CO2削減、省エネに貢献したい！
- 技術シーズを社会実装したい！
- 国家プロジェクト化を見据えてFeasibilityStudyしたい！

実施期間

最大3年間

（中間評価を実施し、
最終年の実施可否や
実施内容を決定）

規模

総額
2億円以内

（1年目：1億円以内
2年目：5千万円以内
3年目：5千万円以内）

実施体制

企業及び大学・
公的研究機関等
による
産学連携体制

詳細はこちら ▶▶▶



エネルギー・環境分野における革新的技術の

 国際共同研究開発

2040年以降の実用化につながる新たな革新的エネルギー・環境技術を諸外国との連携を通じて発掘・育成し、国家プロジェクトを含む産学連携体制による共同研究等に繋げることを目指します。

取り組むべき（公募する）技術課題を設定するため、広く情報提供依頼（Request For Information：RFI）を行います。

こんな方におすすめ

- 海外の技術を獲得・共創したい！
- 将来の世界市場の創出や国際標準の獲得を目指したい！
- 海外の研究環境・設備を活用したい！

実施期間

最大3年間

（中間評価を実施し、以降の実施可否や実施内容を決定）

規模

総額

1.5億円以内

（初年度：2.5千万円程度
2年度：5千万円程度
3年度：5千万円程度
4年度：2.5千万円程度）

実施体制

日本の研究機関・大学等（企業が参加する産学連携体制も可）と諸外国の研究機関・大学等との国際共同研究開発

※1 事業開始が年度途中となるため、3年間の実施期間は4年度にまたがる

※2 NEDOは日本側の研究開発に対してのみ支援

詳細はこちら ▶▶▶



フロンティア育成事業

2040年頃の社会実装に向けて、温室効果ガス削減と産業として成長するポテンシャルが相当大きいと思われるフロンティア領域*において、初期的な研究開発ニーズがあるテーマに関し、事業化の可能性や大規模な研究開発に進むべきかを見極めるための研究開発をNEDOが後押しします。

* フロンティア領域の詳細は「Innovation Outlook」参照
https://www.nedo.go.jp/activities/tsc_activity.html



こんな方におすすめ

- ハイリスクだが、実現すればインパクトの大きい技術がある！
- 未開拓領域だが「日本の次のメシのタネ」になり得る技術がある！
- ゲームチェンジのポテンシャルを有する技術のタネがある！

実施期間

技術の内容やTRL(技術成熟度レベル)等に応じ実施期間や規模を公募課題ごとに柔軟に設定

規模

実施体制

産学連携体制／
民間企業のみ／
大学・公的研究
機関等のみ

(事業化に向けた体制構築
に取り組むことが条件)

詳細はこちら ▶▶▶



未踏チャレンジ

事業開始後30年先を見据えた温室効果ガス（CO₂）の抜本的な排出削減を実現する技術について、既存技術の延長線上になく、従来の発想によらない革新的な技術シーズを探索・創出し、国家プロジェクトを含む産学連携体制による共同研究等に繋げていく事業です。

【研究領域】

- ◆ 次世代省エネエレクトロニクス ◆ 未来構造・機能材料
- ◆ 環境改善志向次世代センシング ◆ CO₂有効活用
- ◆ 導電材料・エネルギー変換材料

こんな方におすすめ

- 誰も研究していないテーマに取り組んでいる！
- 革新的な仮説を検証したい！
- 助教、ポスドクの方！

実施期間

最大5年間

(中間評価を実施し、
3～4年目以降の実施可否
や実施内容を決定)

規模

年間
5百万円～
2千万円程度

実施体制

企業及び大学・公的
研究機関等による
産学連携体制／
大学・公的研究機関
のみ

詳細はこちら ▶▶▶



官民による **若** 手研究者 発掘支援事業 (若サポ)

本事業では、目的志向型の創造的な基礎又は応用研究を行う若手研究者*を発掘し、実用化に向けた産学連携体制での研究開発の実施を支援することにより、次世代のイノベーションを担う人材を育成するとともに、我が国における新産業の創出に貢献します。

*45歳未満。詳細は各フェーズごとに異なる。

【3つのフェーズ】

- ◆ マッチングサポートフェーズ
- ◆ 共同研究フェーズ
- ◆ 共同研究フェーズ（企業人材博士課程派遣型）

こんな方におすすめ

- 共同研究先企業を探している！
- 企業と共同研究を実施中！

実施期間

最大2～3年間
(フェーズによる)

規模

(マッチングサポート
フェーズ)
2年で1千万円

(共同研究フェーズ)
3千万円以内／年

対象

大学等／企業の
若手研究者
(フェーズによる)

詳細はこちら ▶▶▶



脱炭素社会実現に向けた

省

エネルギー技術の研究開発・ 社会実装促進プログラム

「省エネルギー・非化石エネルギー転換技術戦略」において重点的に取り組むべき分野として特定した「重要技術」を中心に、2040年度に高い省エネルギー効果が見込まれる技術開発を支援し、省エネルギー型経済社会の構築及び産業競争力の強化をめざすプログラムです。

技術開発段階に応じた複数のフェーズをご用意しています。

こんな方におすすめ

- 優れた省エネ技術を社会実装したい！
- 革新的な省エネ技術の開発に挑戦してみたい！

実施期間

1年以内～
10年以内
(フェーズによる)

規模

年間
1千万円～
10億円以内
(フェーズによる)

実施体制

企業／大学等
(大学のみの
単独提案は不可)

詳細はこちら ▶▶▶



NEDO懸賞金活用型 プログラム

本プログラムでは、技術課題や社会課題の解決に資する多様なシーズ・解決策を懸賞金型の研究開発方式を通じて募る“NEDO Challenge”により、課題解決や新産業創出につながるシーズを発掘します。

応募が有望な者への研究開発期間中の非金銭的支援（伴走支援、ネットワーク構築、追加支援他）などを組み合わせ、多数の成果の提出を促し、実用化・社会実装を見据えた革新的なシーズや解決策が増えることも目指します。

こんな方におすすめ

- 社会課題等の解決で懸賞金ゲット！
- 個人で応募したい！
- 関連分野の方とのネットワークをつくりたい！

実施期間

規模

応募資格

いずれも懸賞課題ごとに設定

詳細はこちら ▶▶▶



問い合わせ先

NEDO先導研究プログラム

制度・公募に関すること

- 新技術先導研究プログラム（うちエネ環） enekan@nedo.go.jp
- 新技術先導研究プログラム（うち国際共同研究） shinkakushin@ml.nedo.go.jp
- フロンティア育成事業 frontier@nedo.go.jp
- 未踏チャレンジ mitou@nedo.go.jp

RFIに関すること rfi-enekan@nedo.go.jp

※RFIを実施する事業は新技術先導研究プログラムおよびフロンティア育成事業です。

官民による若手研究者発掘支援事業（若サポ）

wakate-contact@nedo.go.jp

脱炭素社会実現に向けた 省エネルギー技術の研究開発・社会実装促進プログラム

shouene@nedo.go.jp

NEDO懸賞金活用型プログラム

sangi-jimu@nedo.go.jp

その他（お問い合わせ先に迷われた場合もこちらへ）

frontier-contact@nedo.go.jp



アカデミアのみなさん ニーズあります
産業界のみなさん シーズあります

NEDO connectでは、
産学連携に関心があるアカデミア・産業界両方の
みなさまに向けた情報を掲載しています。



ニュースリリースや公募、イベント情報等、様々な最新情報を発信しています。
ぜひフォロー・ご登録をお願いします！



NEDO
(@nedo_info)



NEDO【英語版】
(@nedo_info_en)



NEDO



スタートアップクラブ



NEDO Channel



NEDO PR Channel





アカデミアのみなさん ニーズあります
産業界のみなさん シーズあります

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 フロンティア部
〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町1310 ミューザ川崎セントラルタワー
<https://www.nedo.go.jp/>

2025年12月発行